

八月十七日

接 起 案	昭 和 二 十 年 六 月 二 十 日	決 裁 施 行	昭 和 二 十 年 六 月 二 十 日	校 合 送 發
-------------	--	------------------	--	------------------

次
書
案

内閣書記長宛

次
官

占領地軍政委員人選三條ニル件
本年六月内閣人軍第一六三號ヲ以テ仰照令有之矣標記ノ

南洋廳

軍政要員候補者名簿						
任地 擔任業務	官職名及現官 等俸給 (發令年月日)	司政官(技師) 希望官等 (給)	任用資格	功位	氏名 生年月日	現勤務地
ガルネオ民政 部(警察)	南洋廳警部 昭和四一 給四一 和一九三 一	司政官 七等十級	⊙		原增雄 明治三四 三	南洋群島パ ラオ諸島コ ロ

規格-B5 (東京 3,165)

元 福岡縣警察部長
小池秀雄

一、原籍、出生地名、生年月日、年號、月日、事、官階、職名、氏名、原籍地名、同シ、舊氏名、ナシ

原籍	佐賀縣三養基郡南義	族稱	平民	氏名	原 增 雄
出生地名	安村大字西島一〇二	原籍地名	同シ	舊氏名	ナシ
生年月日	明治三十四年三月三日	年號	明治三十四年三月三日	事	
年號	大正 五	月日	三 二 五	事	福岡縣久留米市男子高等小學校卒業
年號	〃	月日	一〇 八 一	事	佐賀縣巡查拜命
年號	〃	月日	〃	事	佐賀縣巡查教習所入所
年號	〃	月日	〃	事	佐賀縣巡查教習所卒業
年號	〃	月日	一 二 八 二 七	事	佐賀縣巡查教習所練習所入所
年號	〃	月日	〃	事	佐賀縣巡查教習所練習所卒業
年號	〃	月日	一 三 八	事	熊本地方裁判所ニ於テ施行ノ裁判所書記登用 試験ニ合格
年號	〃	月日	一 四 二 二	事	佐賀縣巡查部長被命
大正 五	七 一	事		判任	佐賀縣警部補被命
昭和 四	七 二 五	事		判任	依願免本官
〃	五 二 二 三	事		判任	福岡縣警部補拜命
〃	八 四 五	事		判任	依願免本官
〃	四 五	事		判任	南洋廳巡查ヲ命ス
〃	〃	事		判任	給月俸五十圓
〃	〃	事		判任	巡查部長ヲ命ス
〃	〃	事		判任	サイパン支廳勤務ヲ命ス
〃	〃	事		判任	警務係勤務ヲ命ス
〃	兵 一 三	事		判任	任南洋廳警部補
〃	〃	事		判任	給月俸五十圓
〃	〃	事		判任	サイパン支廳勤務ヲ命ス
〃	〃	事		判任	給月俸五十五圓
〃	〃	事		判任	警務課勤務ヲ命ス

南洋廳

規格-B4 (東東3105)

昭和二〇	三三一	給月俸五十七圓	
"	四六	バラオ支廳兼務ヲ命ス但シ當分ノ間バラオ支廳ニ於テ勤務スヘシ	
	六二五	バラオ支廳兼務ヲ免ス	
	六二七	横濱在勤ヲ命ス	
"	七二〇	兼任神奈川縣警部補	神奈川縣
"	"	警察部外事課勤務ヲ命ス	
"	九一六	兼任拓務屬	拓務省
"	九三〇	給月俸六十圓	
"	三二〇	任南洋廳警部	
		給月俸六十圓	
		ヤルト支廳勤務ヲ命ス	
"	九一	警務總長ヲ命ス	
"	九三〇	給七級俸	
南洋廳			
昭和二三	七二六	サイパン支廳ロタ出張所勤務ヲ命ス	
"	三三一	給月俸七十圓	
"	二二	トラツク支廳警務係長ヲ命ス	
"	九三〇	給六級俸	
"	一、二二九	サイパン支廳テニアン出張所警務係長ヲ命ス	
"	九三〇	給五級俸	
"	九一〇	内務部警務課勤務ヲ命ス	南洋廳
"	一八六	敘勳八等授瑞寶章(定例)	賞勳局
"	一三三	西部支廳ヤツブ出張所警務課長ヲ命ス	
"	一二一六	内政部警務課勤務ヲ命ス	
"	三三一	給四級俸	

履歴書(紙)(乙)

規格 一五 (東京3,115)



東人秘第一七二號

昭和十九年六月廿一日

南洋廳長官房 總務課

大東亞大臣官房 人事課長 殿

占領地軍政要員人選方ノ件

六月三日附官人第二〇二四號ヲ以テ御來照ニ係ル首記ノ件左記ノ者ヲ
推薦致度候ニ付可然御取計相煩度此段及同答候也

記

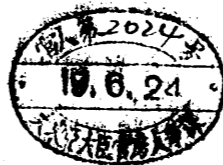
南洋廳警部

原

增

雄

南洋廳



規格-B5 (東東 3,105)

内閣人軍第一六三號

昭和十九年六月五日

内閣書記官長 野直樹

大東亞次官 山本熊一 殿

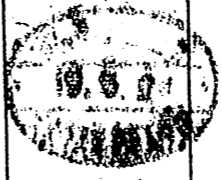
占領地軍政要員ノ人選ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ海軍次官事務取扱ヨリ申出之有候條貴廳ヨリ別紙人
員ヲ派遣相慮様致度至急候補者銓衡ノ上推薦相成度



規格-B5 (東東 3,105)

大東照省宛別紙

任地 擔當業務	官名	員數	備考
ボルネオ民政部 警察	司政官 (六七等級)	一	海軍ニ於テハ南洋廳警務部原増補採用 希望ニ付申據候 

官人第二〇二四號
 決 裁酌賜拾九號六月廿日
 日 淨 尊 校 發
 日 完 結 昭 和 年 月 日
 行 臨 補 拾 九 號 六 月 廿 日
 施 行 昭 和 十 九 年 之 月 二 日
 起 案 昭 和 十 九 年 之 月 二 日

次 官 部

安未

人 事 課 長

南 海 陸 軍 房 務 課 長 宛

占領地軍政委員人選案件

今般海軍次官事務取扱「ホルネ」民政部委員トシテ

七 長 臣 旨



左記に依り人選方御取針を得度旨申越りたり付御取針
方可悉御取針取御取針

記

警務部に周知を以て成()に等級()一名

備考 海軍に用洋艦艇等原増補を採御取針



(此条用紙三張ノ三)

規格-B5 (東京489)



寫

官房人機密第一二七五號

昭和十九年五月二十九日

大東亞次官

内閣書記官長殿

海軍次官事務取扱

占領地軍政要員人選方ノ件照會
「ボルネオ」民政部要員トシテ首題ノ件左記ニ依リ人選方可然御取計
ヲ得度

記

大東亞省及内務省關係

警察ニ關スル司政官(六、七等級)

二名

寫送付先
内大東亞省
務亞次官

海軍

本件一名ハ南洋
關希望ニ有之

機密第一二七五號
昭和十九年五月二十九日

内閣書記官長殿

海軍次官事務取扱

占領地軍政要員人選方ノ件照會
「本才」民政部要員トシテ首題ノ件左記ニ依リ人選方可然御取計

記

運省及内務省關係
察ニ關スル司政官(六、七等級) 二名

寫
内大送付
東先
務理
次大
官官

海軍

本件一名南洋廳警部原増兼探
用希望ニ有之

號外

昭和十九年五月廿一日

南洋廳東京出張事務所長



大東亞大臣官房人事課長 殿

履歷書追送ニ關スル件

曩ニ提出致シタル南洋廳警部原増雄ノ履歷書ハ本廳トノ聯絡不充分ノ爲簡略ニ失セル處本日本廳ニテ作製ノモノ到來致シ茲許再提出致シタルニ付可然御差換相成度

南洋廳

日本標準規格 B5

昭和九一ニニ六	警務課勤務ヲ命ス	
一〇 五三一	給月俸五十七圓	
四六	パラオ支廳兼務ヲ命ス但シ當分ノ間パラオ支廳ニ於テ勤務スヘシ	
六二五	パラオ支廳兼務ヲ免ス	
六二七	横濱在勤ヲ命ス	
七二〇	兼任神奈川縣警部補	神奈川縣
九一六	兼任拓務屬	拓務省
一一 六三〇	給月俸六十圓	
一一 三二〇	任南洋廳警部	
九一	給月俸六十圓	
	ヤルット支廳勤務ヲ命ス	
	ヤルット支廳警務係長ヲ命ス	
昭和一一 六三〇	給七級俸	
四三	赴任ノ爲出發笠置丸	
四二二	着任	
一三 七二六	サイパン支廳口タ出張所勤務ヲ命ス	
七三一	赴任ノ爲出發(横濱丸)(サイパン經由)	
八一八	着任影天丸便	
一三 二二三	休暇ノ爲出發横濱丸便	
一四 一八八	着任	
三三一	給月俸七十圓	
一五 三三	トラツク支廳警務係長ヲ命ス	
六三〇	給六級俸	
一三 二九	サイパン支廳テニアン出張所警務係長ヲ命ス	
一七 六三〇	給五級俸	
一八 六九	敘勲八等授瑞寶章(定例)(履記第三一七二九四號)	實勲局

南洋廳

履歴書野紙(乙)

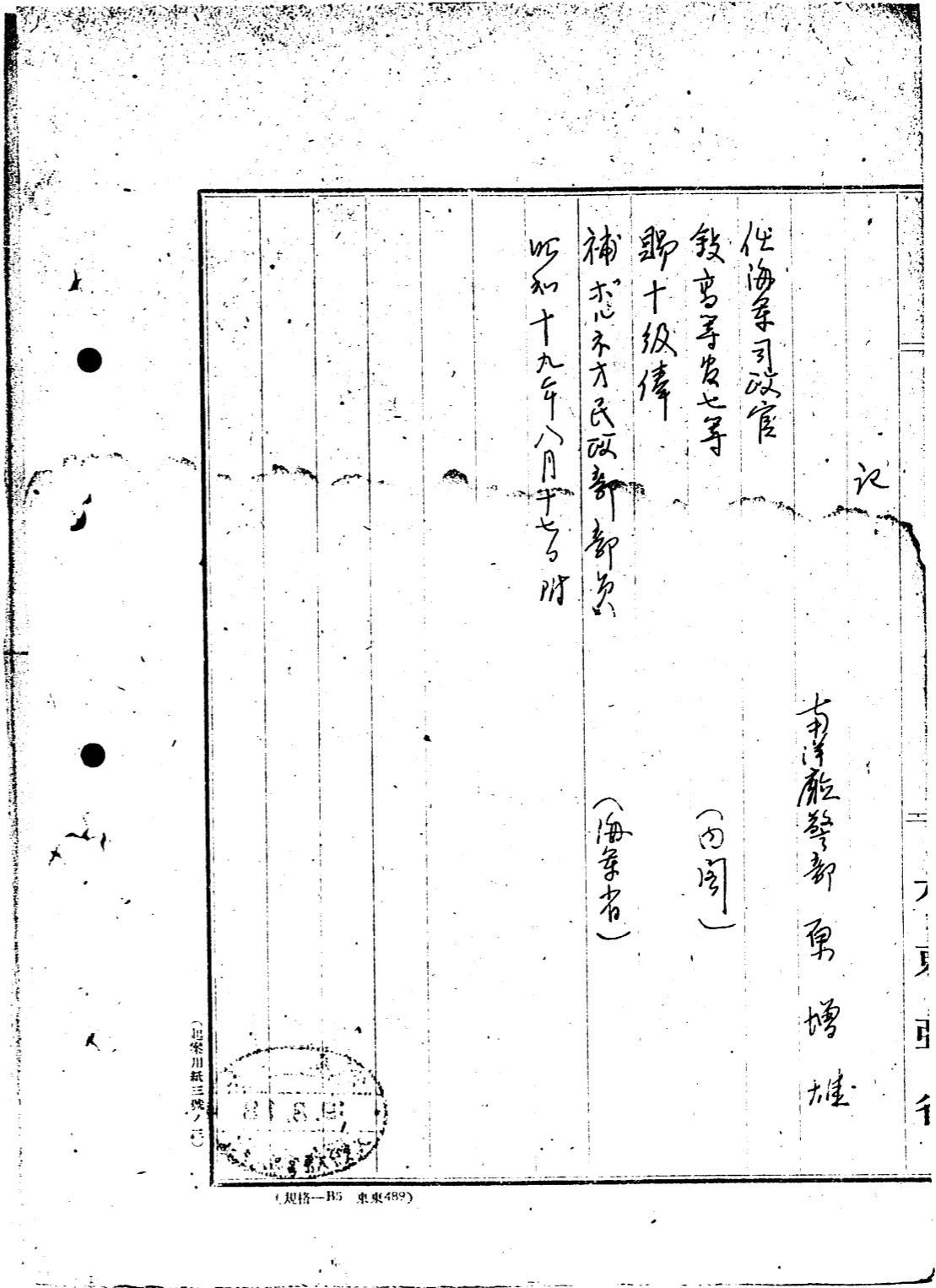
規格 11 (東東3105)

友人第二四二號
接 受 昭 和 年 月 日
起 案 昭 和 十 八 年 八 月 十 九 日
決 裁 昭 和 十 八 年 八 月 十 九 日
行 昭 和 十 八 年 八 月 十 九 日
完 結 昭 和 年 月 日
淨 送 發
合 校
送 發

人事課長宛

人事課長

占領地軍政要員表令二案二件
標記一件左記ノ通告令表及通知表



記

南洋艦隊部 原 増 雄

(内閣)

(海軍省)

任海軍司政官
致高等官七等
郵十級俸
補志才民政新部員
昭和十九年八月十七日附



(起筆用紙三號)

(規格一四五 東東489)

REEL No. A-1223



人秘第二九號ノニ

昭和十九年八月十八日

海軍省人事局第一課長

大東亞大臣官房人事課長 殿

任官發令ノ件通知

左記ノ通發令セラレ候

記

南洋廳警部 原 增 雄

任海軍司政官

昭和十九年八月十七日

海軍司政官 原 增 雄

賜十級俸

補ボルネオ民政部部員

昭和十九年八月十七日

海 軍 省

(終)

